

2016年度国際版画美術館事業報告書【講座・イベント版】

プログラム名	「森羅万象を刻むーデューラーから柄澤齊へ」展開連催事業 公開制作「てのひらの宇宙ー直刻銅版画・エングレーヴィング」				
講師等	尾崎 ユタカ氏（銅版画家）		担当者名	普及係 上村 牧子	
開催日・時間	2016年5月7日土曜日 13:30～16:00		場所	アトリエ	
参加方法	会場へ直接来場（開場は13:00から）		参加者対象	来館者、版画制作に携わる方（当館版画工房利用者、美術大学、カルチャーセンター等）	
参加者数	実績	収容人数	市民率	応募者数	当選倍率（受講歴による調整を実施）
	のべ92人	50人程度	—	—	—
事業概要	公開制作（作家招聘事業）は、作家が制作する場を見たり、語る言葉を通して、版画の技法にふれ、作品への理解をより深めること、そして美術に対する関心を深めることを目的として開催している。 今年度はビュラン（彫刻刀の一種）で制作される版画、木口木版画と銅版画のエングレーヴィングによる展覧会に関連し、エングレーヴィングで制作する作家を招聘。作品や技法の解説と実演をおこなう。				
ねらい・対象	実技指導	展覧会関連	学校連携	友の会連携	その他
	エングレーヴィングの職人的な技術や道具の管理に精通した作家を招聘。その制作方法を公開し、作家の言葉を聞くことで、来館者はより鑑賞を深めるきっかけに、版画制作に携わるかたは技法書などでは理解しにくい道具の準備やビュランの管理など専門的な知識を得ることをねらいとする。				
主な収入	参加無料				その他の特定財源
					0 円
事業経費	<p>●予算 100千円 国際版画美術館イベント事業 &gt;13委託料&gt;作家招聘事業委託料100,000円（税・諸経費込み） ※但し、作家の希望により今回は無償のため、経費に含まない。</p> <p>●イベント材料費 5千円 &lt;内訳&gt;①鉄板:2678円、②金剛砂(20g):23円、③銅版画インク1本:2,786円、</p> <p>●人件費 8千円 ※市職員を除く。 臨時職員8,850円(1日分)</p> <p style="text-align: right;"><b>合計:13千円</b></p>				
主な広報・取材等	広報 展覧会チラシ、公開制作チラシ、広報まちだ、国際版画美術館ホームページ、 取材 なし				
アンケート結果	回収数	回収率	回答した市民率	回答した市外者率	満足度
	64 件	70 %	27 %	73% <small>無記入含む</small>	78 %
	主なご意見	別紙のとおり。			
反省点と改善方法	予備調査	2014年4月、木の葉画廊（神田）で尾崎氏の個展を調査した。			
	講師交渉	2014年の個展会場で可能性を伺い、その後メールで打診。了解を得たので面談し正式に依頼した。			
	準備	4回程度面談し打ち合わせ（内容、進行、道具・会場確認）、詳細はメールにて確認。担当者が広報、タイムテーブル、配布資料等の作成と、会場設営を行なう。作家からは広報用画像の提供、使用する道具や参考作品（版を含む）、解説用模型を借用した。			
	広報	通常のチラシ配布先に加え、美術大学の版画研究室や個人運営の版画工房へも配布したところ、予想を超える来場者数であった。適切であったと考えられる。			
	会場設営	手元での作業が多いため、プロジェクターで投影する等会場後ろでも見える工夫をした。好評であったが、画像が見にくいという声もあった。2画面へ投影したためか電池の消耗が早く、刷りの段階でビデオカメラの電源が落ちてしまった。今後予備バッテリーを用意する。会場が小さいので最初はマイク無しで行なったが、ご高齢者から聞きにくいとの意見があり、途中から備えていたマイクを使用した。 予想外の来場者だったため、会場が狭くなり見にくいとのアンケート回答があった。			
	備品等手配	イベント開始前までに適切に手配することができた。			
	当日進行	銅版画技法を知らない方も用語の意味や技法が理解できるよう配布資料（A3両面印刷）を作成し、アトリエ前廊下に設置した受付で、まちだサポーターズ（2名）にアンケート用紙と共にクリップボードに挟み配布していただいた。会場案内、作品監視、記録（静止画、制作の一部分は動画）は普及係職員が行なった。 講師にビュランの刃先の模型など解説の道具を用意して頂いたため、説明が伝わりやすかった。			
その他特記事項	来場者数の予測が難しかったが、多くの方が興味を持つ内容だったと思われる。アンケートからは版画制作をする層の来場者が多かったことが伺える。2時間半という短い時間では制作のながれを伝えるにとどまり、この技法が持つ奥深い魅力を伝えきれなかったと思う。今後さらに技法という切り口から版画の魅力を幅広く伝える内容を検討したい。				

## 公開制作の様子



会場風景



参考作品などの展示物



1 前半は尾崎氏がこの技法を選んだ経緯や作品についてお話いただく。質疑応答後、砥石の研磨を実演。



2 「良い作品はよく切れるビュランから」ということで、ビュランの研磨方法を実演。手元を拡大しプロジェクターで投影した。



3 ビュランの研磨(仕上げ)を実演。



4 彫りの実演。直線、点、曲線を彫る。



5 来場者3名を募り、試し彫りを体験してもらう。持ち方から指導を受け徐々に慣れていく様子だったが、「とても難しい」という感想。



6 お持ちいただいた版を使って刷りの実演。

◆◆ 町田市立国際版画美術館 2016年度尾崎ユタカ公開制作アンケート 集計結果 ◆◆

実施日:2016年5月11日土曜日(全1回)

アンケート実施日:5月11日 見学者数:92名 回答数:64名

1、このイベントを何でお知りになりましたか？(複数回答可)

無回答	0	その他=作家から、友人から、市役所ポスター、タウン誌、文房堂アートスクール チラシ=当館、美術館、大学(武蔵美、多摩美)、シロタ画廊、友の会
版画美術館HP	11	
広報まちだ	6	
チラシ	18	
来館して知った	18	
その他	16	

計 69

2、イベントをご覧になった感想をお聞かせください。

無回答	7
非常に満足	26
満足	24
ふつう	7
やや不満	0
不満	0

計 64

3、イベントの内容は良かったと思いますか？

無回答	3
非常にそう思う	29
そう思う	28
ふつう	4
あまり思わない	0
思わない	0

計 64

4、解説・説明はわかりやすかったと思いますか？

無回答	4
非常にそう思う	33
そう思う	21
ふつう	6
あまり思わない	0
思わない	0

計 64

5、会場設営について(見やすさなど)は良かったと思いますか？

無回答	3
非常にそう思う	11
そう思う	25
ふつう	19
あまり思わない	6
思わない	0

計 64

6、他にしたい版画制作はありますか？(複数回答可)

無回答	2	その他=摺り師(木版)の制作、リノカット、木口木版、メジチント、作家の公開制作ならどの版種でも、
銅版画	20	
リトグラフ	29	
スクリーンプリント	11	
木版画	24	
その他	9	

計 95

7、版画の制作経験はおありですか？（複数回答可）

無回答	2	②銅版画の制作経験がある (過去数回 11人、過去数年間 0人、現在も続けている 18人、他2人)
経験はない	20	
銅版画の経験がある	31	③他の版種の制作経験がある (木版画 26人、リトグラフ 16人、スクリーンP 6人、その他 2人)
他版種の経験がある	51	
計		104

8、【性別】

無回答	10	
男性	24	
女性	30	
計		64

9、【年齢】

無回答	1	
10歳代	5	
20歳代	4	
30歳代	5	
40歳代	11	
50歳代	9	
60歳代	16	
70歳代	12	
80歳代	1	
計		64

10、【お住まい】

無回答	5	その他＝相模原市(4)、横浜市(5)、多摩市(1)、八王子市(1)、座間市(1)、綾瀬市(1)、川崎市(5)、三鷹市(1)、日野市(1)、武蔵野市(1)、鎌倉市(1)、所沢市(1)、埼玉県入間市(1)、さいたま市(1)、秦野市(1)、都内23区(11)
町田市内	17	
その他	42	
計		64

その他、ご感想やご意見など

●解説も丁寧でわかりやすかったです！！ピュランの模型等良かったです。●ルーペで見ながら彫るとはじめて聞いた。●研ぎは難しいということがよく判りました。バリを丁寧にとりながら制作など初耳でした。木口との違いが色々あることなど知りました。●とても有意義な時間でした。ありがとうございました。●版画に興味を持ったので、今回の公開制作に参加しました。詳しい話を聞くことができて楽しかったです。多色刷りがどうなっているのか気になっています。銅版画を制作するのは大変なことなんだなあと思いました。●会場がもう少し広いと見易いと感じました。●銅版画彫刻の手順が細かく説明されており、大変参考になりました。●非常に深遠な世界を垣間見ることができ、大変興味深かったです。ゴヤやルドンの版画は見た経験がありますが、版画の世界が多様であると感じることができ、有意義でした。常設展示のなかでは特にデューラーとウィリアム・ブレイクの作品の実物を見ることができ、嬉しかったです。また機会をとらえて再訪できればと思います。●また見てみたいです。ありがとうございました。●このような講習会をシリーズ化してほしい。●エングレーヴィングは様々な美術史上の技法の中でもとても美しく興味深いので、スポットを当てていただけて良かった。イベントは第一線で活躍される尾崎ユタカ先生を公開制作にさせていただいて本当に良かった。(私は制作はしないので、鑑賞のみをする人として考えると)研ぐなどの説明より絵を彫るなど制作のところがもっと見たかった。せっかく素敵な絵を彫る先生なので。●使ったことのない道具のことなどを勉強できました。銅版画は始めたばかりなので、今後の参考にしたいと思います。リトグラフに興味があるのでリトグラフの制作も見てみたいです。●観覧者が多く、手元等が見難いかと思ったが、モニターやテレビを上手く使って表現できていたと思う。(とにかく人が多くてびっくりした)マニアックな技法なので、全員に理解してもらうことは難しいと思うが、一般の方にも少しは理解して頂けたのではないだろうか？スタッフの方の気配り心配りに感心した。費用対効果の低い技法ではあるが、多くの方に知ってもらいたい技法である。●大変分りやすく勉強になりました。細かい技術のコツも教えていただき、どうもありがとうございました。●始めは聞き取りにくかったけれど、マイクを使ってくださったのでよかったです。手元をスクリーンで見せてくださってよかったです。●全くの素人でも丁寧な説明で、工程を良く理解することができました。手間ひまかかり大変な作業ですが、モノ作りの面白さを感じることができました。●大変分りやすく勉強になりました。スタッフの方々のサポートも進行もすばらしく良い時間でした。●ピュランの解説書はあまりないので、実演はわかりやすかった。●参加者が多すぎて手元があまり見えなかった。ビデオも鮮明でなく見づらかった。お世話になりました。●ビデオのバッテリー切れは残念。エングレーヴィングのデモは少ないので、良い機会でした。●ビデオがあったので直接見なくてもよくわかりました。ビデオの電源が切れなかったらもっと良かったです。●ホワイトボードが用意してあるのだから使用したほうが良いと思う。●聴力が悪いとあらかじめ知識ないと十分な理解得られないこと知りました。まったく初めてなので。ありがとうございました。●だいぶ時間が経ってから途中入場したら、刃の研ぎ方の説明を詳しくやっておられたので少しビックリ。(彫り方を見せるのかと思っていたので)しかし、皆さん熱心に聞いておられたので、版画をやるろうとしている方々が多数見えていたと了解。職人的こだわりを共有しているようで良い雰囲気だった。/